

今日は、風呂の日。

いい風呂いろいろ。▶▶▶ 温泉地やまっぴら 福岡県宗像市王丸474 TEL.0940-37-4126

暮らしプラス

西日本新聞

夕刊

発行所 西日本新聞社 〒810-8721 福岡市中央区天神1丁目4番1号 ©西日本新聞社2014年 ☎092(711)5555代 2014年(平成26年)6月26日(木曜日)

電力9社で株主総会

九電全社拳げ再稼働

2年連続の無配陳謝

沖縄電力を除く大手電力9社の株主総会が26日、各地で一斉に開かれた。福岡市であった九州電力の総会では、原発停止に伴う赤字継続で年間配当を2年連続で見送ることについて、瓜生道明社長が「深くおわび申し上げます」と陳謝。原子力規制委員会の優先審査を受け、全国で最も早く再稼働する可能性が高い川内原発1、2号機(鹿児島県薩摩川内市)と、玄海原発3、4号機(佐賀県玄海町)の早期再稼働に向けた対応に全社を挙げて取り組んでいることを説明し、理解を求めた。

会社側は2013年度事業報告で、昨年4月以降に電気料金を値上げしたものの、原発再稼働が想定より遅れ火力発電燃料費の増大で連結純損益が960億円の赤字となったことを説明。経営安定化に向け、議

決権がない「優先株」を日 本政策投資銀行に発行し1 千億円の資本増強を行うこ とを報告、関連の定款変更 議案の承認を求める。 質疑では、株主から原発 に依存する経営姿勢や、無 配が続くことへの批判があ った。株主からは、原発再 稼働について「実効性ある 避難計画が策定されたらと 判断されるまでしない」と する定款変更案など5議 案が事前に提出されたが、 いずれも取締役会が反対 しており、否決される見通 し。 総会には午前11時現在、

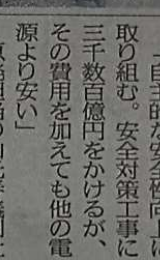
他より低コスト/安全保証ない 株主ら

福島第1原発事故発生か 働に向け「手を挙げる」と 4度目となる電力会社の 強調したが、会場内外では 株主総会、九電は、原発再稼 働を急ぐよう促す

総会には事前に原発に関 連する質問が多く寄せられ らが順に答弁した。 「自主的な安全性向上に 取り組む。安全対策工事に 三千数百億円をかけるが、 その費用を加えても他の電 源より安い」

「などとした。だが、株 主からは「根拠は何か」な どの声が飛んだ。

約100人の市民団体関係 者が集まり「再稼働反対」 などとデモ行進した。 九電消費者株主の会、深 江守事務局長(57)は「福島 事故以降も九電の体質は変 わっていない。川内原発近 くの鹿児島県いちき串木野 市では、市民の半数を超え る再稼働反対の署名が集ま った。九電はその声を誠実 に受け止めるべきだ」と話 した。



福岡市東区の保育士、浜 崎織絵さん(46)は「子ども たちに原発の危険なツケを 回してはいけない。保護者 も不安がっている。九州に は火山もあるし、絶対安全 という保証はない」。佐賀 県唐津市の農業、田口常幸 さん(62)は「事故時の避難 計画が不十分。被ばくを避 ける責任の所在が曖昧だ」と 訴えた。

九州電力の株主総会に頭を下げる瓜生道明社長のモニター映像(26日午前10時20分、福岡市中央区(撮影:軸丸雅則)・原発再稼働の反対を訴えて九州電力本店(奥)の前をデモ行進する人たち(午前10時半すぎ、福岡市中央区(撮影:岡部拓也))

再稼働を 考える 地域と原発

原発担当の山元春義副社 長は、原発のコスト面での 優位性を強調。国内第1号 の再稼働に向けて国の審査 が進む川内原発(鹿児島県 薩摩川内市)が、火山被害 を指摘されている点につい ても、「大規模噴火は、数 十年前から兆候を確認でき ている」と指摘された。 一方、会場となった福岡 市中央区のホテル前には、